

2014 年秋、ムスタン未踏峰 Mansail (6, 242m) 遠征記
—女子大生 4 人と過ごした 40 日間、ムスタンの旅—

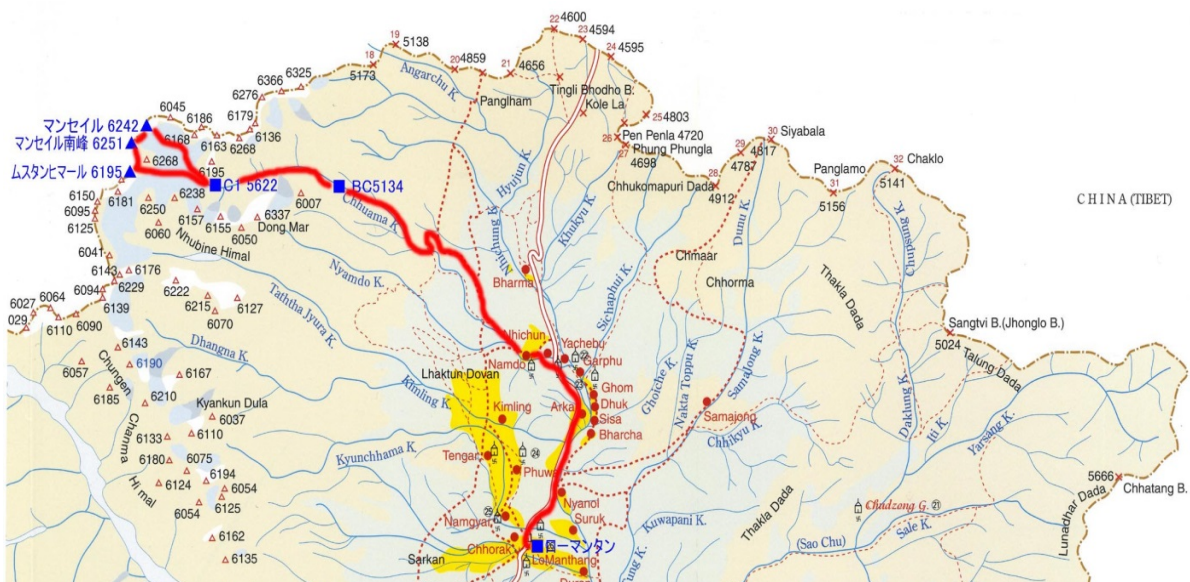
谷口 けい

アルパインクライマー、ファシリテーター、国立登山研修所講師

1. 遠征隊名称： 日本山岳会学生部女子ムスタン登山隊 2014
2. 主 催： 公益社団法人日本山岳会 学生部
3. 遠征期間： 2014 年 9 月 5 日～10 月 13 日
4. 遠征隊メンバー： 井上由樹子 (隊長、武蔵野大学 4 年)、長谷川恵理 (創価大学 4 年)、
中村真理子 (筑波大学 4 年)、三島夏帆 (弘前大学 3 年)、谷口けい (顧問/ アドバイザー)
5. 遠征地域： ネパール国ダウラギリ県ムスタン地方



6. ローマンタン～ムスタンヒマールへの道筋：



7. 行動概要：

9/09 カトマンズ（空路）ポカラ

9/10～20 ポカラ（空路）→ ジョムソン → エクレバッティ → チュサン → サマル →
ガミ → ローマンタン → チュサン → ベースキャンプ(4888m)

9/25 BC → C1(5476m)

9/27 C1 → C2(5684m)

9/29 C2 → マンセイル峰登頂 - C2

9/30 C2 → BC

10/01～02 BC 滞在

10/03 BC（馬）→ ローマンタン

10/04 ローマンタン（車）→ ジョムソン

10/05 ジョムソン滞在

10/06 ジョムソン（空路）→ ポカラ

10/07 ポカラ（空路）→ カトマンズ

8. 写真記録

ムスタンのストウーパ



ムスタンの林檎



ローマンタンのマニ車



BC でのプジャ



4000m で出会ったエーデルワイス



5000m で出会った不思議な花



左 Mansail South、右 Mansail



6000m で出会った死骸



チュンゾンのお婆ちゃん



馬使いのカンチャ



BC より下山は馬と共に



9. ムスタン遠征回想記

地図と Google Map だけで登る山をイメージしてきた。目指すマンセイル峰はいったいどこにあり、どんな壁が待ちかまえているのか？

ムスタン王国の中心地、ローマンタンより先には何の情報もない。幾つかの川を渡り、ヤクの放牧される荒野を越え、触れるごとに動く巨岩の積み重なった谷を遡り、生きて帰れるよう道標にケルンを積み、日本を出てから 20 日目に（記録上）誰も触れたことのない氷河の末端に辿り着く。

氷河を登り、幾つかのクレバスを越えるとチベットの青空の下にマンセイル峰の岩壁が見え

てきた。近い、と思ってからが遠い。氷河上を4人一本のロープに繋がってすすむ。なんと、チベット地方はいつだって青空の下にあると思っていたのに、モンスーン明け前の最後の嵐ともいべき大雪が始まった。

白い氷河の上に、らくだの背中のように突き出たマンセイルの岩壁を、快適に登攀できると思っていたのに、結局はいつもの冬壁ミックス登攀（岩あり雪あり氷あり）となってしまった。学生たちにとっては相当刺激的な冒険となったことだろう。それでも未踏のピークを踏み、ホワイトアウトの中の下山をこなして無事に氷河を降りきり、最終キャンプまで戻って来れたときの、生きてる幸せを実感している彼女たちの顔が忘れられない。

私自身、何度かヒマラヤの地へ足を向けてきたけれど、このムスタン遠征でも新しい出逢い（発見）が幾つもあった。

カラフルなチベット仏教のストゥーパ（仏塔）、4000mでのムスタン・エーデルワイス、5000mで出会った不思議な植物、6000mの氷河上で出会った小動物の死骸（おそらくユキヒョウの子供？）、モンスーン明けと共に頭上を飛んだアネハヅルの南下編隊、そしてムスタンの片田舎に残された河口慧海の足跡。

アネハヅルの南下編隊



ローマンタンから望む山並み



10. 谷口けいさんの横顔 —ご参考—

（2014年12月開催の日本山岳会年次晩餐会資料より、抜粋して転載しました。編集責任：前田栄三）

大学卒業後、マスコミ業界に就職するが、2年半で退職。企業研修ファシリテーター、野口健環境学校プログラム、山岳ツアー会社契約ツアーリーダー、日本山岳協会自然保護指導員、東京都山岳連盟遭難対策委員兼救助隊等、教育、野外活動の分野で幅広い経験と実績を積む。

2002年より、野口健エベレスト清掃隊、マナスル清掃隊に参加、2006年マナスル登頂、2007年エベレスト登頂。それと並行し、ゴールデンピーク(7,200m)、ライラピーク(6,200m)、シブリン(6,543m)、カメット(7,756m)に新ルートからアルパインスタイルで登攀を成功させる。

2008年、カメット未踏ルート南東壁初登攀により、第17回ピオレドール賞受賞（女性の受賞は初）。

2014年、アラスカ州デナリ国立公園・ルース氷河で4本の新ルートを開拓。ピオレドール・アジア受賞。

現在、株式会社IWNC研修プログラムファシリテーター、野外研修ファシリテーター、山岳ツアーリーダー、国立登山研修所講師、アルパインクライマー、日本山岳協会自然保護指導員。

以上